



# 廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

平成29年  
3月10日  
第6号

日に日に暖かさが増えています。春の訪れを実感する今日この頃です。平成28年度「市教委だより」も最終号となりました。先生方おひとりおひとりや、各学校の取組の活性化につながることを期待して作成してきました。1年間、お読み頂き、ありがとうございました。



## きっと見つける!! ～これからの総合的な学習の時間～

平成30年度「学びの変革全県展開」に向けて、各校において「課題発見・解決学習」の単元開発と、主体的な学びを促す授業改善の取組を進めていただいています。

その中で、重要視されていることの1つに「総合的な学習の時間における単元開発」があります。児童生徒が自ら課題を見付け、課題の解決に向けて探究的な活動をしていく学習にするために、総合的な学習の時間の単元をブラッシュアップしていかなければなりません。

「どんな授業にしていけばいいの?」とか、「分かっているけれど、自分一人の力じゃ変えられないよ…」など、きっと学校ではたくさんの「?」や「…」があるのではないかと思います。

その解決のためのヒントになるイベントが開催されます!!

### 「ふるさと学習先進事例発表会」

平成28年度に廿日市市分権政策部シティプロモーション室と連携しながら、総合的な学習の時間で「課題発見・解決学習」に取り組んだ四季が丘小学校の4年生と大野東中学校の1年生が、廿日市市民に向けて自分たちの取組を発信します。

1年かけて取り組んできた成果を、両校の児童生徒が大舞台上で発表します。その姿を見れば、先生方はきっと何かを感じると思います。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

**日時 3月18日(土) 10:00～12:00**

**場所 さくらびあ大ホール ※申し込み不要、入場料無料**

詳しくはこちら↓ (Ctrl ボタンを押しながらクリックしてください)

<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/site/citypromotion/26253.html>



## 学校の取組の“いま”がわかる と題して本市の取組を紹介しました

平成29年2月18日(土)にさくらびあ小ホールを会場として、「はつかいち教育講演会」を開催しました。廿日市市内の多くの保護者や先生に参加していただきました。

広島県教育委員会下崎教育長による講演では、広島県における「学びの変革」がなぜ必要かということについて熱く語っていただきました。

パネルディスカッションでは、阿品台東小向井教諭、阿品台西小上田主幹教諭が「つながり支援プロジェクト」の取組で行っている「断り方のソーシャルスキル」を実演を交えて楽しく紹介されました。七尾中藤井校長は「学びの変革」パイロット校事業の取組等を分かりやすく紹介されました。大野中学校藤井教諭は電子黒板や書画カメラ、デジタル教材を使って、小学校の外国語活動と中学校の英語の模擬授業をされました。

参加者からは、「10年後20年後のために教育委員会、学校もがんばっているんだということが分かった。自分の子どもが通っている学校がどういう取組をしているのか興味を持っていこうと思う。」という感想があり、学校の取組に興味関心を持たれた方が多くいたことが分かりました。

これを契機に、学校においても工夫していることや子どもの変化などを積極的に保護者や地域の方々に向けて発信していきましょう。



下崎教育長による講演



藤井先生による模擬授業

## 「学びの変革」の推進に向けて研修をしました

平成29年2月9日(木)に七尾中学校を会場として、第3回「学びの変革」推進協議会を行いました。

各校の研究主任の先生が、七尾中学校の2つの授業提案を参観し、「主体的な学び」となるための授業改善について協議しました。

また、研究主任の先生方の交流では、各校が作成した単元計画を持ち寄り、要点や工夫について交流しました。その後の感想には、「有意義な交流だった。」「個人で単元を考えると悩むことが多いので、次年度もこのような研修会をしてほしい。」というものがありました。

### 平成30年度にすべての学校で子どもの主体的な学びを促す授業

が実現し、「課題発見・解決学習」を年間指導計画に位置付け、実施できるよう、平成29年度も「学びの変革」推進協議会を行う計画にしています。各校でも研究主任の先生を中心に議論し、実践していきます。

平成28年度第3回廿日市市「学びの変革」推進協議会協議資料

### 「課題発見・解決学習」の単元計画集



主体的な学びを促す授業

平成29年1月  
廿日市市教育委員会

各校に配布し交流に使った単元計画集の表紙

## マレーシアとの国際交流

3月7日・8日に、マレーシアから10人の子どもたちが廿日市市を訪れました。

原小学校は、地域や保護者からホストファミリーを募り、マレーシアから来た子どもたちのホームステイを実現しました。交流会では、歌や踊り、楽器演奏などで、日本とマレーシアそれぞれの文化の素晴らしさを伝え合いました。

また、合同授業では、電子黒板を使った授業に歓声が上がっていました。

児童は、「英語・日本語・マレー語で話したけれど、一緒に楽しく遊べました。どんな生活をしているのか、マレーシアに行ってみたくくなりました。」「交流会で見たマレーシアの踊りは、衣装や踊り方などが亥の子舞などの日本の踊りと全く違うものでした。自分たちと異なった文化をもつマレーシアのことについてもっと知りたくくなりました。」等の感想をもったようです。



グローバル社会の到来を予感させる今回の訪問を通して、子どもたちに国際交流の経験を積ませることの大切さを実感しました。

## 2名が優秀賞受賞 ～「ことばの輝き」優秀作品コンクール～

「書く力」を身に付けることをねらって県主催で開催されている本コンクールで、2名が優秀賞に選ばれました。

### 部門3「本を読んで考え、表現する力」

七尾中学校第2学年 松田 奈々 さん

「小さな労働者」を読んで

大野中学校第3学年 大坪 日向子 さん

「羅生門」を読んで

来年度もがんばりましょう!



## 「全国いじめ問題子供サミット」

1月21日(土)に「平成28年度全国いじめ問題子供サミット」が、文部科学省で開催され、広島県を代表して佐伯中学校3年生中原 優成さんが参加し、堂々と自分の考えを述べました。

### ～中原さんの感想～

佐伯中学校でも「み・そ・あ・じ」と「聴く力」の取組を通して、全校であいさつ運動を行っていますが、言葉を交わすことで、いじめ問題の解決につながることを知り、もっと活性化させていきたい、そして、クラスみんなや先生と話し合う時間をたくさんつくっていききたい、いじめを心から無くしたいと思いました。

## 生徒指導 スキルアップ!⑥

### 1年間を振り返って

4月から市教委だより「生徒指導スキルアップ!」コーナーを設け、1年間お伝えしてきました。

### スキルアップポイント!

- 5月…この時期に、再度「指導を徹底する」ことは、とても重要であること
- 7月…欠席状況等を整理するなど、個々の児童生徒実状に合った対応策を検討すること(不登校)
- 9月…すべての子どもに「出番」があり「活躍」できるような指導をすること(積極的生徒指導)
- 11月…生徒に考えさせ、気付かせるなど、生徒自らが守っていく取組にしておくこと(積極的生徒指導)
- 1月…指導方針を定め、関係者が指導方針を理解した上で役割分担し、自らの専門性を生かすこと(組織的)



1年間で5つのポイントをお伝えしました。来年度も、この5つのポイントを意識し、「つながり支援プロジェクト(つなプロ)」を中心とした未然防止の取組を、さらに充実させていきましょう。

「子どもたちの笑顔を守るのは私たち」ですから! 1年間、ありがとうございました。